



# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2021年8月号 (第303号)

特集1

2020年度公共用水域及び地下水の水質調査結果

特集2

2020年度大気汚染調査結果

特集3

2020年度ダイオキシン類環境調査結果等



かしこく選んで、地球よろこぶ

愛知県気候変動適応センターだより (8月号) (P7)

ストップ! 温暖化  
夏休み! おうちエコアップ大作戦



「夏休み! おうちでエコアップ大作戦」の参加者を募集しています (P5)



「環境教育 協働授業づくり研修」の受講者を募集しています (P6)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」Web ページは  
こちらから



今月号とバックナンバーを掲載しています。



水質汚濁防止法第16条第1項の規定により作成した「2020年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき、愛知県と関係機関が行った県内の水質調査結果の概要は、次のとおりです。詳細はWebページをご覧ください。(https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2020suishitsu-taiki.html)

## 1 公共用水域の水質調査結果



### (1) 健康項目

河川、湖沼、海域の139地点のうち、1地点で1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しなかったものの、その他の項目及びその他地点の全ての項目で環境基準を達成しました(2019年度も同様。)

### (2) 生活環境項目

河川の有機汚濁の代表的な指標である生物化学的酸素要求量(BOD)、湖沼及び海域の有機汚濁の代表的な指標である化学的酸素要求量(COD)、海域の富栄養化の代表的な指標である全窒素及び全リン、水生生物の保全に係る環境基準項目である全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)の調査結果について、環境基準の達成率を下表にとりまとめました。

【環境基準(生活環境項目)の達成水域数及び達成率】

	調査項目	類型指定 水域数	環境基準 達成水域数*3	環境基準 達成率*3	
河川	BOD	49*1	48(46)	98(94%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	40(38)	95(90%)	
		ノニルフェノール	42(42)	100(100%)	
		LAS	42(42)	100(100%)	
湖沼	COD	1	0(0)	0(0%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	1(1)	100(100%)	
		ノニルフェノール	1(1)	100(100%)	
		LAS	1(1)	100(100%)	
海域	COD	11*2	6(5)	55(45%)	
	全窒素	6*2	5(5)	83(83%)	
	全リン		6(6)	100(100%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	4*2	3(4)	75(100%)
		ノニルフェノール	4(4)	100(100%)	
LAS		4(4)	100(100%)		

\*1 調査項目により数は異なりますが、対象河川は同一です。

\*2 COD、全窒素及び全リンについては伊勢湾と三河湾を対象とし、水生生物保全環境基準については伊勢湾のみを対象とし、三河湾は対象外です。

\*3 ( )内は2019年度の状況です。

達成率の長期的な推移としては、河川のBOD、海域の全窒素及び全リンについては改善傾向にあり、海域のCODについては概ね横ばいで、湖沼のCODについては未だ達成していません。

## 2 地下水の水質調査結果

### (1) 概況調査

全体的な地下水の水質の概況を把握するため、メッシュ調査\*89地点、定点調査19地点の計108地点で調査を行いました。その結果、メッシュ調査2地点、定点調査2地点の計4地点で環境基準を超過した項目がありました。新たに環境基準の超過が判明したメッシュ調査の地点については、井戸所有者に対する飲用指導等を実施しました。

\* 県内を約5km(三河山間部は約10km)のメッシュに区分して行う調査。

### (2) 定期モニタリング(継続監視)調査

過去の概況調査、事業者からの報告等で地下水汚染が判明した地域の継続的な監視を行うため、150地点242本の井戸で調査を行いました。その結果、91地点109本の井戸で環境基準を超過しました。

### (3) 汚染井戸周辺地区調査

概況調査、事業者からの報告等により判明した地下水汚染の汚染範囲等を確認するため、11地点29本の井戸で、汚染範囲等の確認調査を行った結果、全ての井戸で環境基準を満たしていました。

【環境基準の超過地点数】

調査区分	調査地点数	環境基準 調査地点数
概況調査	メッシュ調査	89(89)
	定点調査	19(19)
定期モニタリング調査	150(242)	91(109)
汚染井戸周辺地区調査	11(29)	0(0)

\* ( )内は井戸の本数を示す。

## 3 今後の対応

引き続き調査を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例等に基づき、事業者に対する指導、生活排水対策等を総合的に推進し、環境基準の達成・維持に努めていきます。

水大気環境課 調整・計画グループ  
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン)  
水・土壌規制グループ  
電話 052-954-6222 (ダイヤルイン)



愛知県は、大気汚染防止法に基づき、名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市とともに、二酸化硫黄等の大気汚染状況の常時監視及びベンゼン等の有害大気汚染物質等のモニタリング調査を行っています。

2020年度の調査結果の概要は、次のとおりです。詳細はWeb ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2020suishitsu-taiki.html>)



## 1 大気汚染常時監視結果

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質 (PM<sub>2.5</sub>) については、前年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントは2019年度と同様に全ての測定局で環境基準を達成しませんでした。

【環境基準の達成状況】

項目	二酸化硫黄		二酸化窒素	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	19	4	61	23
達成測定局数	19	4	61	23
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	一酸化炭素		浮遊粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	2	8	62	23
達成測定局数	2	8	62	23
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	光化学オキシダント		微小粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	62	12	41	16
達成測定局数	0	0	41	16
環境基準達成率	0%	0%	100%	100%

(注1) 一般局は一般環境大気測定局のことで、自排局は自動車排出ガス測定局のことで。

(注2) 環境基準達成率は、「(達成測定局数/有効測定局数)×100(%)」で示しています。

## 2 有害大気汚染物質等モニタリング調査結果

環境基準または指針値が定められているベンゼンなどの15物質については、全ての測定地点で環境基準等を達成しました。

### (1) 環境基準が定められている4物質

対象物質	測定地点数	達成地点数	環境基準達成率
ベンゼン	19	19	100%
トリクロロエチレン	18	18	100%
テトラクロロエチレン	18	18	100%
ジクロロメタン	18	18	100%

### (2) 指針値が定められている11物質

対象物質	測定地点数	達成地点数	指針値達成率
アクリロニトリル	18	18	100%
塩化ビニルモノマー	18	18	100%
水銀及びその化合物	15	15	100%
ニッケル化合物	15	15	100%
クロロホルム	18	18	100%
1,2-ジクロロエタン	18	18	100%
1,3-ブタジエン	19	19	100%
ヒ素及びその化合物	15	15	100%
マンガン及びその化合物	15	15	100%
塩化メチル	18	18	100%
アセトアルデヒド	17	17	100%

## 3 今後の対応

引き続き常時監視やモニタリング調査を行い、環境基準等の達成状況を把握するとともに、大気汚染防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例、自動車NOx・PM法、愛知県NOx・PM総合対策推進要綱等に基づき、各種大気汚染防止対策を総合的に推進し、環境基準等の達成・維持に努めていきます。

〔 水大気環境課 大気調査グループ  
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン) 〕

# 「2020年度ダイオキシン類環境調査結果」等 についてお知らせします



愛知県は、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき2020年度に実施したダイオキシン類の環境調査結果及び事業者による測定結果を取りまとめました。その概要は、次のとおりです。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000007021.html>)



## 1 環境調査結果

県は、国土交通省中部地方整備局、4政令市（名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市）及びその他13市町とともに、大気環境、水環境（水質、底質、地下水及び水生生物（魚類））及び土壌環境についてダイオキシン類濃度の調査を実施しました。

大気、底質、地下水及び土壌については、全ての地点で環境基準を達成しました。水質については、3地点（鹿乗川<sup>かのり</sup>米津小橋<sup>よねづ</sup>（西尾市）、西古瀬川<sup>さいこせ</sup>西古瀬橋<sup>さいこせ</sup>（豊川市）、油ヶ淵<sup>あぶらがら</sup>中央<sup>あぶらがら</sup>（碧南市））を除き環境基準を達成しました。

また、水生生物（魚類）については、国が1999年度に実施した全国調査結果（0.032～33 pg-TEQ/g）の範囲内でした。

### 【環境調査結果】

調査項目	調査地点数	環境基準達成地点数	濃度範囲	環境基準	単位
大気	36	36	0.011 ～0.038	0.6以下	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
水質	47	44	0.031 ～3.6	1以下	pg-TEQ/L
底質	45	45	0.083 ～91	150以下	pg-TEQ/g
地下水	15	15	0.014 ～0.073	1以下	pg-TEQ/L
水生生物 （魚類）	4	—	0.34 ～0.48	—	pg-TEQ/g
土壌	15	15	0.00095 ～1.8	1,000以下	pg-TEQ/g

(注1) 環境基準（大気、水質、地下水）は年間平均で評価  
(注2) TEQとは、ダイオキシン類は異性体が多く、毒性は異性体ごとに異なるため、異性体の中で最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDの量に換算した値として表したもの。  
(注3) 水生生物（魚類）の環境基準は設定されていない。

## 2 事業者による測定・報告状況（4政令市分を除く。）

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく大気基準適用施設（廃棄物焼却炉など）又は水質基準適用事業場（廃棄物焼却炉の廃ガス洗浄施設など）の設置者は、毎年1回以上の排出ガス、排水及びばいじん等に含まれるダイオキシン類濃度の測定を行い、その結果を知事に報告することが義務付けられています。

排出ガスについては304施設、排水については23事業場から報告があり、1施設の排出ガスを除き排出基準に適合していました。排出基準を超過した施設については、改善対策の実施を指導しました。

また、ばいじん及び燃え殻については155施設から報告があり、2施設を除き、ばいじん等の処理に係る基準に適合していました。基準を超過した施設については、適正な処理を指導しました。

### 【事業者による測定・報告状況】

測定項目	報告済施設数		未報告施設数
		基準不適合	
排出ガス	304	1	0
排水	23	0	0
ばいじん及び燃え殻	155	2	0

(注1) 報告済施設数は、2020年度末の数を示す（ただし、報告後廃止した施設も含む。）  
(注2) 排水の施設数は、事業場数を示す。  
(注3) 未報告施設数は、2020年度末の時点で稼働している施設数のうち、未報告の施設数を示す。

## 3 今後の対応

ダイオキシン類による汚染の状況を監視するため、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、引き続き環境調査を実施していきます。また、今後も事業場に対して、立入検査を継続し、排出基準及びばいじん等の処理に係る基準の遵守などを指導していきます。

（環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ）  
電話 052-954-6212（ダイヤルイン）



# 「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」の 参加者を募集しています



愛知県では、地球温暖化防止に向けた「賢い選択」を促す「あいちCOOL CHOICE」県民運動の取組の一つとして、小学生とその家族による「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施しています。

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」は、家族と一緒に過ごす時間の長い夏休み期間中に、家族みんなで協力して、省エネなどのエコアップ行動に7日間取り組んでいただくものです。



個人でも学校単位でもご参加いただけます。参加児童には参加賞のほか、エコアップ行動の達成で、県認定「エコ家族認定証」が贈られます。ご家族で、是非チャレンジしてみてください。

## 1 参加方法（個人で参加する場合）

特設 Web サイトからエコアップブックをダウンロードしていただき、実践したエコアップ行動をチェックシートに記録します。記録したチェックシートを下記までお送りください。

（学校で取り組む場合は、先生にお渡してください。）

## 2 提出先・問合せ先（提出期限：9月30日（木））

愛知県地球温暖化防止活動推進センター

〒461-0005

名古屋市中区東桜 2-4-1 第3 コジマビル 4階

電話：052-934-7295

詳細は Web ページをご覧ください。

夏休みエコアップ大作戦

<https://www.accca.net/ecoup.html>



地球温暖化対策課 調整・企画グループ  
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

# プラスチック資源循環オンラインセミナーの 参加者を募集しています



愛知県では、消費者、事業者等が取り組むべき事項を取りまとめた「あいちプラスチックごみゼロ宣言」（2020年1月発表）を推進するため、主に事業者の皆さんを対象に、プラスチック資源の循環に関する社会の動きなどについて知っていただくため、「プラスチック資源循環オンラインセミナー」を実施します。是非ご参加ください。

1 開催日時 8月27日（金）14:00～16:00

2 開催方法 オンライン配信  
（Zoom ビデオウェビナーを使用）

3 主な内容

### ○ 基調講演

「プラスチック資源循環を巡る世界の変化、それぞれに求められること」

【講師】 枝廣 淳子 氏

大学院大学至善館教授  
（株）未来創造部代表取締役社長  
幸せ経済社会研究所所長

### ○ 対談

枝廣淳子さんとフリーアナウンサー<sup>ますだゆりな</sup> 榎田絵理奈さんによるプラスチック資源循環に関する対談を行います。

4 参加費 無料（通信料は自己負担となります。）

5 定員 300名（申込先着順）

6 申込期限 8月26日（木）まで

### 7 申込・参加方法

下記 Web ページにある応募フォームからお申込みください。お申込みいただいたメールアドレスに参加 URL をお送りしますので、当日は URL からご参加ください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/plasticseminar2021.html>)



資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234（ダイヤルイン）

## 「環境教育 協働授業づくり研修」の受講者を 募集しています



愛知県では、持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を目指し、地域の団体・企業・社会教育施設等が、学校と連携・協働して授業をつくり上げる「協働授業づくり」を推進しています。

その一環として、地域と学校が協働して効果的な環境学習を行うための「環境教育 協働授業づくり研修」を開催します。

地域の特性を生かした授業づくりをお考えの教員の方にもお勧めの研修です。是非ご参加ください。

1 日時 8月27日(金) 14:00~17:00

2 会場 愛知県環境調査センター(名古屋市北区)

3 内容・講師

(1) 事例講座「出前講座実施のポイント」

[講師] 加山興業株式会社 <sup>なかじま</sup> 中嶋 あゆみ 氏

(2) 講義「協働することの大切さ」

[講師] 名城大学教職センター 教授 <sup>いなか ひろし</sup> 井中 宏史 氏

(3) 演習「協働授業づくり体験」

[ファシリテーター]

名城大学教職センター 教授 井中 宏史 氏

4 対象・定員

(1) 団体・企業・社会教育施設等の方

(2) 教員 各10名程度(申込先着順)

5 申込期限 8月20日(金)まで

6 申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、FAX 又は Eメールのいずれかの方法でお申し込みください。

申込用紙のダウンロードや申込先等の詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/kyodo2021.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

## 大気汚染防止法の改正により アスベストの飛散防止対策が強化されました



1 背景

アスベスト(石綿)は、極めて細かい天然鉱物繊維で、耐熱性、耐久性等に優れていることから、建材等として多く使用されてきました。しかし、吸い込んだアスベストが肺の奥深くまで入り込むことで中皮腫や肺がんなどの重大な病気を引き起こすことがわかり、新たな使用は禁止されています。現在は、石綿が使用されている建築物等の解体作業を行うときに、大気中に飛散させないように、大気汚染防止法等に基づいて適切な措置をとることとされています。

近年、解体等工事の事前調査での石綿含有建材の見落としや不適切な除去などが確認されたことに加え、これまで規制対象ではなかった石綿含有成形板等についても、石綿が飛散することが明らかになったことから、大気汚染防止法が改正されています。

2 改正の概要

2021年4月から次のとおり施行されています。

- ・解体等工事開始前に実施する事前調査の手順を確立(書面調査、目視調査及び分析調査)
  - ・石綿含有成形板等を含む全ての石綿含有建材に規制対象を拡大
  - ・隔離等をせずに吹付け石綿等の除去作業を行った場合に対する罰則の強化(直接罰の創設)等
- また、2022年4月から、一定規模以上の解体等工事实施にあたり、石綿含有の有無に関わらず、事前調査結果の知事等への報告が義務付けられます。

愛知県では、強化された改正法に基づき、工事現場への立入検査等を通して、石綿の飛散防止に関する指導を実施しています。

水大気環境課 大気規制グループ  
電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)

# 愛知県気候変動適応センターだより（8月号）



## 1 あいち COOL CHOICE ～緩和策・適応策～

「あいち COOL CHOICE」は、国が進める国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」とともに、県民の皆さんに CO<sub>2</sub> 削減行動・省エネ行動に取り組んでいただくため、日常生活のあらゆる場面で地球温暖化対策となる「賢い選択」を呼びかける県民運動です。

「あいち COOL CHOICE」の Web ページでは、「ストップ温暖化教室」の実施などの県の取組や、誰もが実践できる様々な取組例を紹介しています。

夏に自宅のできる取組例としては、軽装と室温 28℃を目安としたエアコンの使用によって、一世帯当たり年間約 15kg の CO<sub>2</sub> 排出量を削減し、年間約 820 円の電気代を節約できます。



あいち COOL CHOICE ～夏は軽装で快適に～

体調や暑さ寒さの感じ方などに合わせて、服装等で適正な室温への適応を図りましょう。なお、冷房による室温の目安は 28℃とされていますが、無理のない範囲で室温を管理することが大切です。

さらに、ゴーヤやヘチマなどのつる植物で、日光の当たる壁面部等をカーテンのように覆う「緑のカーテン」を育てれば、植物の蒸散による冷却効果や、日光を遮る効果によって、部屋の温度を低く保つことができます。

こうした取組は、地球温暖化に対する緩和策ですが、快適に過ごすための適応策でもあります。皆さんの「賢い選択」で、地球温暖化の緩和と気候変動への適応を進めていきましょう。

「あいち COOL CHOICE」の詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/aichicoolchoice.html>)



あいち COOL CHOICE ～緑のカーテンを育てよう～

## 2 生き物への気候変動影響に関する調査

中部地方環境事務所と気候変動適応中部広域協議会の主催で「気候変動探偵局 生き物大移住計画を調査せよ!」が行われています。

自然生態系への気候変動の影響を調査するため、中部 7 県内（富山・石川・福井・長野・岐阜・愛知・三重）で見つけた動物や植物をスマートフォンアプリで投稿する取組で、調査期間は 11 月 30 日（火）までです。今年は特に「セミ」に関する情報（写真や鳴き声の音声）の投稿を募っています。皆さんも「気候変動探偵」として調査にご協力ください。

種名	ヒグラシ	ツクツクボウシ	アブラゼミ	ミンミンゼミ	クマゼミ
成虫					
鳴き声	カナカナカナ...	ツクツクオーン、ツクツクオーン...	ジジジジ...	ミンミンミンミンミン...	シャーシャーシャー...
主な活動時期	7月～9月頃 早朝と夕方	7月～11月頃 午前中～夕方	7月～10月頃 早朝と午後～夕方	7月～10月頃 午前～午後 (地域により異なる)	7月～9月頃 早朝～午前中

### 中部地域でよくみかけるセミ

(中部地方環境事務所 Web ページから引用)

詳細は中部地方環境事務所の Web ページをご覧ください。

([http://chubu.env.go.jp/earth/ad\\_nature.html](http://chubu.env.go.jp/earth/ad_nature.html))



環境調査センター 企画情報部  
気候変動適応センター  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



# 連載 2020年度あいちの未来クリエイイト部の 教材を紹介します (3)



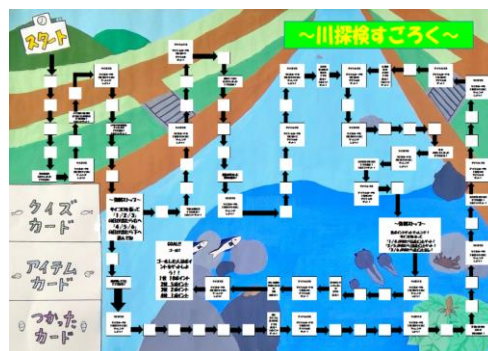
愛知県では、高校生が専門家等の支援を受けながら、地域の環境問題について調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材を作成する「あいちの未来クリエイイト部」の活動を行っています。6月号から3回にわたり、昨年度参加した3グループが作成した教材を紹介しています。

最終回となる今回は、「愛知県立豊田高等学校 科学部・写真部」の皆さんが作成した教材を取り上げます。

愛知県立豊田高等学校 科学部・写真部の皆さんは、専門家から魚種の同定方法などの指導を受けながら、高校の近くを流れる伊保川・籠川で魚類調査を行いました。調査の結果を20年前の同河川での調査結果と比較検討したところ、20年前の調査では捕獲できていて、今回の調査では捕獲できなかった在来種の魚類が複数あったことから、捕獲技術等の差を考慮しても川の環境が変化していることがわかりました。



伊保川・籠川での魚類調査の様子



ボードゲーム「川探検すごろく」

調査を終えた高校生たちは、地域の子どもたちを始め、たくさんの人に「川で安全に楽しく遊び、新しい体験をして欲しい」「魚や川、環境に興味を持ってもらいたい」と考え、ボードゲーム「川探検すごろく」を作成しました。プレイヤーは、すごろくを通して川へ探検に出かけ、クイズを解いたりアイテムカードを使ったりすることで、獲得できる魚ポイントを競いながらゴールを目指します。川で遊ぶ際に気を付けることや、川に生息する生きもの、外来種について遊びながら楽しく学ぶことができます。

あいちの未来クリエイイト部では他にも様々な教材が作成され、全て貸出しを行っていますので、是非ご利用ください。教材や貸出方法の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/program.html>)



〔 環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン) 〕

※ 掲載の研修会やイベントは、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
2021年8月2日発行(第303号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

### 編集後記

プラスチックに係る資源循環の促進を図るため、「プラスチック資源循環促進法」がこの6月に成立しました。ニュースでも報道されていましたが、コンビニ等で無料でもらえるプラスチック製のスプーンについて、有料化も含め議論されるようです。これからは、マイバックに続いてマイスプーンが主流になるかもしれませんね。  
(企画・編集チーム)

※ 「環境かわら版」は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

